

研究情報詳細

【氏名】

鶴見 正史 (つるみ まさし)

TSURUMI Masashi

【所属(職位)】

経営学部総合経営学科(教授)

【取得学位】

博士(学術)

【略歴】

- 2016年9月 2016年9月 佐賀大学大学院工学系研究科博士後期課程システム創成科学専攻 修了
佐賀大学大学院工学系研究科よりPh.D.を授与される。佐賀大学 博士(学術) 甲第590号
博士論文「中小企業会計基準の設定と会計情報システム—社会的要請に応える新たな会計制度のあり方—」
- 1988年1月 海上自衛隊入隊(至1994年3月)
- 1994年4月 名古屋法経情報専門学校金山校(現、名古屋法律経済専門学校)勤務(至2002年3月)
- 2001年4月 愛知産業大学経営学部 経営学科 非常勤講師(簿記Ⅰ・簿記Ⅱ担当)(至2004年3月)
- 2002年4月 愛知産業大学短期大学 専任講師(基礎ゼミナールなど担当)(至2004年3月)
- 2004年4月 愛知産業大学経営学部 経営環境学科 専任講師(2008年4月准教授、至2009年4月)
- 2004年4月 愛知産業大学短期大学 非常勤講師(簿記Ⅰ、基礎ゼミナールなど担当)(至2005年3月)
- 2009年4月 愛知産業大学経営学部 総合経営学科 准教授(至2022年3月)
- 2022年4月 愛知産業大学経営学部 総合経営学科 教授(現在に至る)

【主な担当科目】

現代生活と会計、簿記Ⅰ、財務分析、コンピュータ会計、原価計算論

【主な研究分野】

中小企業の会計基準、会計構造論

【所属学会等】

日本簿記学会、日本会計研究学会、日本企業経営学会、財務会計研究学会、日本会計史学会

【主な研究テーマ】

1. 中小企業の会計基準設定に関する研究
2. 明治初期からの収支に関する研究
3. 帳簿組織に関する研究

【主な研究・発表等業績】

1. 「わが国における中小企業会計基準の発展」高橋和幸編著『企業会計システムの現状と展望』五紘舎、52-62頁。2017/1
2. 「下野直太郎と太田哲三の取引要素説と収支的簿記」上野清貴編著『簿記の理論学説と計算構造』中央経済社、2019/9
3. 「売却時価会計と簿記の計算構造」上野清貴編著『簿記の理論学説と計算構造』中央経済社、2019/9
4. 『複式簿記概説—財務報告の方法と論理—』鶴見正史編著 五紘舎。2020/4
5. 「中小企業の簿記法に関する一考察—中小企業簿記指導者講習会速記録より—」『愛産大論叢』第24号、87-96頁。2021/12

【社会的活動】

1. 日本企業経営学会幹事

【その他の活動】

1. 日本簿記学会「簿記理論研究部会」委員、2017-2018
2. 日本会計史学会「スタディーグループ」委員、2023-2024